

平成25年度 国有林野事業業務研究発表会

と き 平成25年12月4日(水)

ところ 農林水産省

開会式 9時30分～ 第3特別会議室:本館7階

第一会場 第3特別会議室:本館7階

【森林ふれあい部門】(午前)10時05分～

【森林保全部門】 (午後)13時30分～

第二会場 共用第10会議室:本館7階

【森林技術部門】 10時05分～

表彰式 17時10分～ 第3特別会議室:本館7階

【森林技術部門】11課題

低コスト造林(コンテナ苗)
や森林施業技術、共同施業
団地に関連するものなど



中部森林管理局
飛騨森林管理署

【森林ふれあい部門】5課題

地域と連携した森林づくりの
取組など



関東森林管理局
天竜森林管理署

【森林保全部門】7課題

・世界遺産地域など、森林
生態系の保全管理や、獣害
対策に関
連する取
組など



北海道森林管理局
網走南部森林管理署

《森林技術部門》

会場：共用第10会議室（本館7階）

NO.	開始時間	発表課題名	森林管理局	森林管理署等	発表者氏名 (現所属)
1	10:05	剣山地域における自然景観に配慮した治山工事について	四国	徳島森林管理署	中村 正史
		丸田 泰史			
四国第二の高峰、剣(つるぎ)山地域において、シカ対策や自然景観に配慮した工法を検討し、実行した2例の取組についての報告					
2	10:25	今後の低コスト再造林への提案	九州	森林技術・支援センター	田中 優哉
		一括発注によるコスト縮減に係る調査等、各試験等により得られた成果と課題から今後の低コスト再造林についての提案を行う			
3	10:45	低コスト林業の普及に向けた取組み ～誘導伐とコンテナ苗の一括発注～	北海道	宗谷森林管理署	佐々木 健司
		田中 淳			
伐採とコンテナ苗の一括発注方式によるコスト削減の取組みについて報告					
【休 憩】 11:55～13:30					
4	11:15	富士山国有林におけるニホンジカの新しい捕獲手法(誘引捕殺:シャープシューティング)の検討	関東	静岡森林管理署	漆道 真也 (現茨城署)
		松坂 勝士			
剥皮防止ネットや金網による樹木保護及び猟友会による捕獲の実施後も被害は深刻化している状況の中、新しい捕獲方法として、試行的に導入した誘引捕殺(シャープシューティング)の実施結果について報告					
5	11:35	ナラ枯れ被害の拡大防止に向けた取り組みについて	中部	北信森林管理署	重松 千晶
		島田 純樹			
各種薬剤や生分解性シート等を併用し、効果的で低コストな被害拡大防止に向けた取り組みと考察					
【休 憩】 11:55～13:30					
6	13:30	android携帯端末を利用した収穫調査業務支援アプリケーションの開発について	東北	下北森林管理署	照井 桂 (現三陸北部署)
		大室 裕史 (現青森署)			
藤田 伸之					
近年、急速に普及しつつあるスマートフォンを活用し、現場作業におけるIT化の可能性について検討を行った成果について報告					
7	13:50	三俣森林共同施業団地の設定と実施経過について	関東	吾妻森林管理署	蛭間 敦子
		吾妻森林組合		入澤 富雄	
群馬県の北部に位置する吾妻郡において、国有林と民有林の共同施業団地をつくり、森林育成、木材の生産・搬出等のコスト削減に向けた取り組みを報告					
8	14:10	飛騨森林管理署における共同施業団地の現状と課題(高山市一色・山中山地域森林共同施業団地の事例)	中部	飛騨森林管理署	伊藤 納
		日置 順昭			
森林共同施業団地設定後、森林整備実施計画に基づく事業を展開しており、今後のさらなる効果的な施業実施に向けた現状と課題について考察					
9	14:30	民有林と国有林の架け橋 ～森林共同施業団地設定による作業道の有効利用	北海道	根釧東部森林管理署	今野 智之
		根室振興局森林室		山本 健治	
根室管内3町と根釧東部署において、格子状防風林等の保全に関する協定を締結(H24.5)。これに基づき、根室振興局森林室との連携により森林共同施業団地を設定し、路網の共同利用などの取組について報告					
【休 憩】 14:50～15:10					
10	15:10	人工林に介在する天然性広葉樹の更新状況	近畿中国	森林技術・支援センター	池田 則男
		矢野 宣和			
天然生稚苗の発生・生育メカニズムを調査・解析し、針広混交林化や天然更新による広葉樹林化の施業技術の確立をめざす					
11	15:30	地域コアメンバー1年間の取組み	北海道	空知森林管理署	細野 高德
		北海道型路網・作業システムを推進するため、地域に12名いる地域コアメンバー会議を発足。隣接署との現地検討会等、作設マニュアル作成の取組みと成果を報告			

《森林ふれあい部門》

会場：第3特別会議室（本館7階）（午前）

NO.	開始時間	発表課題名	森林管理局	森林管理署等	発表者氏名(現所属)
1	10:05	お倉ヶ浜ふれあいの森 における海岸林の保全活動の取り組み	九州	宮崎北部森林管理署	佐藤 英也 (現熊本署)
		日田 仁志			
地域住民の生活を守るとともに市民の憩いの場としても親しまれているお倉ヶ浜海岸林でのふれあいの森における森林整備や清掃活動を紹介し、今後の保全活動のあり方を考察					
2	10:25	地域の若者と国有林を結ぶ取組	東北	米代東部署 上小阿仁支署	佐々木嵩史 (現企画調整課)
		村内で地域活性化に取り組む若者の団体(若者会議)と連携し、共同作業や対話を重視したワークショップ形式による森林ふれあい活動を実施			
3	10:45	官民共同による自然休養林の環境整備・保全活動について ～明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の取組～	近畿中国	京都大阪森林管理事務所	岡本 哲知
		明治の森箕面自然休養林管理運営協議会		鎌谷 計三	
		平成21年4月に設立した自然休養林管理運営協議会の活動により、看板設置・シカ防護ネット設置などが行われ、行政と市民との信頼関係が醸成された取組について報告			
【休 憩】 11:05～11:15					
4	11:15	森林セラピーとその可能性	四国	梶原町立国保梶原病院	伴 正海
		四万十森林管理署		森下 嘉晴	
		松原まろうど会		下元 廣幸	
高知県梶原町にはセラピー基地とロードがあり、今回、メンタルヘルスに与える影響について、その課題を抱える者に対しての効果と検証について報告					
5	11:35	台風被害地における『地域の森林』再生プロジェクト	関東	天竜森林管理署	猪股 須恵
		アスモ株式会社		鈴木 芳明	
台風被害を受けた森林を、地域に生育する広葉樹を用いて、地域の方々と共に、地域に愛される森林を目指して再生する取組について、経過を報告					

《森林保全部門》

会場：第3特別会議室（本館7階）（午後）

NO.	開始時間	発表課題名	森林管理局	森林管理署等	発表者氏名
1	13:30	翼を大きく広げて ～シマフクロウ生息地の森林の管理～	北海道	網走南部森林管理署	山下 誠護 (現 経理課)
		枝澤 則行			
シマフクロウ生息地におけるアカエゾマツ人工林と林道沿線木の処理について、専門家と共同して取組んだ施業方法の事例について報告					
2	13:50	低コスト獣害対策（シカネット）の取組	九州	宮崎森林管理署 都城支署	郷原 寛美
		森 正文			
シカの食害等を防ぐ既存の防護手法について、シカの生態系等を考慮したより効果的で低コストな防護手段の実証について報告					
3	14:10	シカ防護柵を用いた緑化への試み ～大杉谷国有林を事例として～	近畿中国	三重森林管理署	濱口 昌敏
		松村 尚徳			
シカの食害により、林地の裸地化や土壌浸食など深刻な問題となっている。平成15年3月に設置した防護柵による検証結果から、緑化への考察					
4	14:30	高山帯におけるニホンジカ被害対策について	中部	南信森林管理署	田中 良太
		松嶋 克彰			
ハヶ岳高山帯におけるニホンジカ被害状況の把握及び長野県諏訪地域広域捕獲隊と連携したニホンジカの捕獲についての考察					
【休 憩】 14:50～15:10					
5	15:10	小笠原諸島における外来植物対策(デジタル撮影空中写真を使用した調査方法の検討)	関東	小笠原諸島 森林生態系保全センター	藤田 富二
		(一社)日本森林技術協会		宮下 洋平	
小笠原諸島森林生態系保護地域における外来植物駆除の事前調査による踏圧は希少な動植物に影響をあたえていることから、踏圧を少なくするため、空中写真を使用した調査方法の検討結果について報告					
6	15:30	絶滅危惧種イヌワシと生物多様性の保全を目的とした等高線 方向列状間伐の効果	東北	三陸中部森林管理署	盛 一樹
		石橋 史朗			
全国で初めてイヌワシ保全のための等高線方向列状間伐を実施した結果、イヌワシの餌場として機能すること、草本層の生物多様性の増加が確認された成果について報告					
7	15:50	四国地域の国有林内およびその周辺地域における翼種目生 息確認調査	四国	四国自然史科学研究センター	谷地森 秀二
		局技術普及課		西本 義夫	
四国内の翼種目の多くの種が準絶滅危惧種や情報不足としてランクされている。四国内のコウモリの捕獲調査を実施について報告					



【森林技術部門】 コンテナ苗を活用した低コスト造林技術の普及に向けた取組や、共同施業団地の設定など、研究機関や民有林と協力・連携しながら取り組んでいます。



【森林ふれあい部門】 NPOや市民団体などと連携した自然再生の取組など、地域に根ざした森林づくりの活動を通じて、現在の問題点や今後の取組の方法を考えていきます。



【森林保全部門】 希少な野生動植物の保護など多様な森林生態系の保全管理、シカなどの獣害対策について、地域の実情や取組の現状を報告します。

《農林水産省 案内図》 地下鉄霞ヶ関駅をご利用ください。

《7階 詳細図》

